

練馬区を取り巻く政治・経済的・技術・社会的要因

- 政治的要因：イノベーション強化と中小企業活性化
 - ・イノベーションを推進した中小企業活性化策の推進。
- 経済的要因：景気後退。製造業、卸業・小売業、建設業の事業所数、従業者数の減少傾向
 - ・景気後退により中小企業に打撃。失業率も過去最悪。
- 技術的要因：先端技術を新しい産業分野で実用化を目指す
 - ・環境関連、コンテンツ産業関連技術の成長著しい。
- 社会的要因：少子高齢化時代の到来。インターネット活用モノからサービスへの消費行動の変化
 - ・地球温暖化など環境問題への対応
 - ・ライフスタイル、消費多様化（ニーズ、手段、時間帯、方法）

現状分析からの特徴

- 区部北西部に立地し、人口が約70万人と世田谷区に次ぐ規模を有しており、人口の伸びも区部平均を上回るベッドタウン。
 - ・埼玉にも東京都心にもアクセスがよい。
 - ・練馬駅、小竹向原駅の乗降客数は1日100,000人超。
 - ・人口（特に夜間人口）の伸び率が高いベッドタウン。
 - ・1世帯当たりの人口多くファミリーで居住。
- 区内の事業所は商業やサービス業、飲食店など、生活支援にかかわる業種の集積が大きく、小規模事業所が多い。
 - ・従業員数10人未満の事業所が81%を占めており、区部全体に比べて小規模。
- 工業については、小規模の事業所が多い。主な業態としては、出版・印刷や衣服繊維製品、食料品等の軽工業である。用途地域の関係上、工場の立地は困難である。
 - ・従業員数10人未満の事業所が83%を占めている。
 - ・従業員数は減少傾向にある。
- 商業については、人口集積の割に販売額が小さく、他区と比較して消費が区外に流出している。
 - ・小売商店数は区部平均よりも多いが販売額が小さい。人口当たりの販売額は区部最下位。
 - ・売り場面積は増加傾向にあり、大型店舗化が進んでいる。
- アニメ産業や伝統工芸、都市農業、大学等の資源も有する。
 - ・全国一のアニメ関連産業の集積地だが、認知度は30%弱程度。
 - ・伝統工芸、漬物業者も所在。大学や研究所も所在。
 - ・練馬の歴史に支えられた都市農業が再評価されている。
 - ・農地面積は、減少しながらも23区最大（市街化区域内農地面積：都全体で第4位）

現状分析からの課題（案）

- 課題1 消費の流出
 - 人口の割に販売額が低迷しており、埼玉や東京都心へのアクセスがよいことから区外に消費が流出していることが課題となる。
- 課題2 消費者のライフスタイル、ニーズの多様化への対応
 - ライフスタイル、消費者ニーズが多様化している。練馬区がファミリー世帯の住宅地であり、事業所としては商業等の生活支援に係る業種の集積が多いが販売額が伸び悩んでいることから、ライフスタイル、ニーズの多様化への対応が課題となる。また、区民（消費者）が安心して買い物が出来るよう、消費者側に対しても相談・情報提供などをおこなっていく必要がある。さらに、ライフスタイルの変化が要因となり、環境問題など社会的な要請への対応も求められている。
- 課題3 住民、来訪者によるにぎわい創出
 - 1日の乗降客数が100,000人超の駅もある中で、そうした人の流れを街のにぎわいや消費と結びつけていくかが課題となる。観光客など来訪者増加のために、観光情報を効果的に発信し練馬区の魅力をPRすることが課題となる。
- 課題4 景気後退による中小企業の業況悪化への対応
 - 景気後退により、経営基盤の弱い中小企業は大きな打撃を受けている。練馬区では、従業員数10人未満の中小企業が大多数を占めていることから、雇用対策も含め、中小企業の業況悪化への対応が課題となる。
- 課題5 資源（強み）が十分活用されていない
 - 練馬区には、アニメ関連産業や伝統工芸など強みとなる資源を有するが、例えばアニメ関連産業は集積が日本一にも関わらず30%程度の認知度に留まるなど十分に活用されていない。アニメ等のコンテンツ産業は、技術的にも成長が目覚しく、今後、業界としての新しい展開の可能性も十分にある。さらに農業は、地産地消の充実に加え、ブルーベリーなど観光農園や農商工連携を通じた新しい、製品作りも期待される。こうした強みを最大限に活かすことが課題となる。

対応策の方向性（案）

- 魅力がある商店街、店舗づくり
 - 消費流出を防止し、多様なライフスタイル、ニーズに対応した魅力ある商店街、店舗づくりが必要。
- 街、商店街のにぎわいづくり
 - にぎわいと活気あふれる街、商店街を目指すため、区民（消費者）も参加した「練馬（街、商店街）づくり」が必要。また住民だけでなく、来訪者が街を往来し、商店街でお金を落とすような人の流れをつくる必要がある。
- 消費者の自立を支援する
 - 消費者に適切な情報を提供し、消費者被害を未然に防ぐなど、地域社会で多様な消費活動が安心してできる必要がある。
- 中小企業の活性化をめざす
 - 生活関連に特化した、練馬区商工業の主人公である中小企業の活性化をめざし、経営支援から就労者の支援まで幅広いサポートが必要。
- 強みを活かした新しい練馬づくり
 - 練馬の強みであるアニメや農業、伝統工芸等の特徴的な産業を活かす。また、大学等と連携することにより、新しいアイデアや技術を創造し、中小企業活性化や商店街・各店舗の魅力づくりにつなげていくことで練馬独自の新商品の導入・新市場の開拓等に繋がる可能性を期待するとともに、各団体が、協力しやすいしくみづくりが必要。
- 環境に配慮した事業活動
 - 地球温暖化対策や循環型社会の形成への取組など、環境に配慮した事業活動への支援が必要。